

授業科目 教育方法・技術

【担当教員名】 後藤康志	対象学年	2	対象学科	ｽﾍﾞ・栄養・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

教育の技術には明示的で誰もが利用できる技術と、誰もが利用できるわけではなくその人が使うから効果がある「属人的技術」があると言われる。本講義では、前半は現職教員や実践的研究者が作成したテキストを利用して前者の「誰もが使える、明示的に伝達可能な技術」について検討する。後半では、NHK放送教育番組「わくわく授業～私の教え方」の分析と教育技術の抽出によって、教育技術の本質とも言える「属人的技術」とそれを支える「暗黙知」へのアプローチを試みる。H16調査によれば我が国の本務教員数は小学校は38万人、中学校では24万人。その全ての教室で、一つとして同じ授業はない。授業とはいかに創造的な仕事であることか。教科教育の専門的教育技術を支える教育学的な教養として、教育技術とは何かを、教師を目指す諸君と共に考えてみたい。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 授業設計、学習の組織化、授業の展開に関わる基本的な技術について説明できる。
2. 各教科における具体的な授業展開における教育技術の特徴と、授業評価について説明できる。
3. 優れた授業の映像から、1, 2に示す一般的な授業の技術を抽出できる。
4. 優れた授業と教師の関係を考察し、その教師が駆使している授業技術を検討する。
5. 教職を希望する学生として積極的に学修に参加する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション：教育における技術とは何か	1, 5	講義
2	教育技術の理論とその発展	1, 5	講義、グループ討議
3	授業の設計と教育技術	2, 5	学生によるプレゼンと解説
4	学習指導の組織化と展開	1, 5	学生によるプレゼンと解説
5	各教科における授業展開	2, 5	学生によるプレゼンと解説
6	授業の評価と教師の意思決定	2, 5	学生によるプレゼンと解説
7	教師の力量向上：アクションリサーチと属人的技術	1-5	学生によるプレゼンと解説
8	NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（全体Ⅰ）	3, 5	講義、グループ討議
9	NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（全体Ⅱ）	3, 5	講義、グループ討議
10	NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（グループⅠ）	4, 5	グループ作業
11	NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（グループⅡ）	4, 5	グループ作業
12	NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（グループⅢ）	4, 5	グループ作業
13	授業技術の「みえ」を検討する：自己内対話と他者との対話Ⅰ	1-5	講義、グループ討議
14	授業技術の「みえ」を検討する：自己内対話と他者との対話Ⅱ	1-5	講義、グループ討議
15	まとめ	1-5	講義、グループ討議

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	生田孝至（編）子どもに向き合う授業づくりー授業の設計、展開から評価までー		図書文化	2006, 1, 800円
参考書	西之園晴夫・宮寺晃夫（編）教育の方法と技術、ミネルヴァ書房、2004、2, 800円			
その他の資料	NHKわくわく授業 ホームページなどネットワーク上、e-learningサイト上の情報を適宜利用します。			
【評価方法】		【履修上の留意点】		
出席：10%、ワークシート：10%、プレゼン10% 最終レポート70%		e-learningシステムを活用した講義配信や課題遂行を行うので、必要に応じてPCやLANケーブルを持参すること。 学生がパワーポイントを作成しプレゼンテーションを行います。		